

被災地の子どもたちに将来の夢を！

# 家族ロボット教室

## 活動の目的・教室の方針

- 私たちは、「東日本大震災の復興支援」と「科学およびものづくりへの興味の向上」の2つの目的を持って、活動を開始しました。
  - 「答えを教える」教室ではなく、「考えて工夫してもらう」教室を方針としています。
- 被災地域の子どもたちに将来の夢をもってほしい
  - 目標をもつことで、充実した日々を送ってほしい
  - 子どもの理数離れを少しでも食い止めたい
  - 子どもとその家族にもものづくりの楽しさを知ってもらいたい
  - 子どもたちの将来の夢に科学やものづくりを含めてほしい
  - 教材の説明、PCの使い方、プログラミングに必要な操作などを最小限で説明
  - アドバイスはするが、直接的に答えは教えず、家族で考え課題の解決を図る
  - 「もう一度やってみたい」という満足感をもって終了できるよう、講師・アシスタントが全力でサポートする

## 教室のプログラム内容

### 組み立てることでロボットの構造を学ぶ



#### ■ ロボット組立て(40分)

- 組立図とパーツ一式が入ったキットを使って自分専用のロボットを組み立てる
- 組立て終わった人から講師が車検して、正しく組立てられたことを確認する

### 課題を消化することでプログラミングを学ぶ



#### ■ プログラミング(90分)

- ツールの使い方を教わりながら、走る、曲がる、センサを使用して制御するなどの課題を、ひとつずつ消化しながら理解する

### トーナメントを通じ創意工夫する事を学ぶ



#### ■ トーナメント(40分)

- 最終に黒い線が引かれたコースを一周するプログラムの作成する
- より確実により速くコースを一周するために、プログラムを改良する